

# 牛久：学校周辺に見る自然

第46号 牛久自然観察の森

2016年11月16日発行

## ＜ 秋の日に、牛久自然観察の森を歩く ③その他の昆虫 ＞

秋の牛久自然観察の森、前号では花に来る昆虫たちを紹介しました。今回はその他の昆虫です。



左は赤とんぼ3種、上からノシメトンボ、ナツアカネ、アキアカネ。右はオオアオイトトンボ。

多くのトンボは幼虫(ヤゴ)で冬を越しますが、秋に産卵する赤とんぼのなかまやオオアオイトトンボなどは卵で越冬します。赤とんぼは、この日もノシメトンボ、ナツアカネ、アキアカネの3種が見られました。

ウラギンシジミは、葉のうらにじっとしています。はじめはいろいろな葉にとまるようです。



はじめは常緑樹だけでなく、落葉樹や草の葉のうらなどにもとまる、成虫越冬のウラギンシジミ。



力なく地面を歩くハラビロカマキリ(左)と、セイタカアワダチソウの茎に産みつけられたオオカマキリの卵のう(右)。



さんらん  
産卵を終えたのか、ハラビロカマキリが地面を力なく歩いていました。また、セイタカアワダチソウの茎には、オオカマキリの卵のうが産みつけられていました。卵のうの表面には寄生バチらしきものもいましたが、卵は無事だったのでしょうか…。力ない

たとえば、アオマツムシも草の葉の上をよたよたと歩いていました。

そしてヤマトシジミも、草や木の枝先でじっと動かずにいました。

草の葉を弱々しく歩いていたアオマツムシ(左)と、じっと動かないヤマトシジミ(右)。

木の幹には、ヨコヅナサシガメがまだ1頭でいました。いつごろから集まり始めるのでしょうか？

また、落ち葉の中に動くものが見ていたら、オサムシのなかまが出てきました。

そしてセイタカアワダチソウの茎の先にはナナホシテントウがいて、テントウムシがいれば…と探すとアブラムシも見つかりました。さらに、近くにはクモの姿も。

【理科支援員：宮内】



まだ1頭のヨコヅナサシガメ(左上)と落ち葉の中に出てきたオサムシのなかま(左下)、セイタカアワダチソウにはナナホシテントウとアブラムシ、クモ(右)。